

5. 解説：PoC (Proof of Concept) と CE(Concept Engineering)

■ PoC (Proof of Concept) とは

新しい概念や理論、原理、アイデアの実現可能性を実証するために、簡単かつ不完全な実現化（または概要）を行うこと。あるいは原理のデモンストレーションによって、ある概念や理論の実用化が可能であることを示すこと。一般に、完全に機能するプロトタイプへと至る前段階と見なされる。[\[Wikipedia\]](#) 日本語訳としては、「概念実証」「実証実験」が用いられている。

目的/目標設定 ⇒ 実施方向性(具体的なシーン、条件、実施内容・方法等)の設定
⇒ 概念実装(試作/仕組み建付け) ⇒ 実施 ⇒ 検証/評価

「ゴールが明確で、明確な結果を期待」して開発するのがプロトタイプで、PoC は「こういうことができるのではないか」という仮定を実証/検証する実験である。医療の分野(製薬、医療機器等)では古くから導入されているとのこと。最近、IT 業界でも注目されているが、その背景には、新たな技術(=未知なる可能性)を用いた「ビジネスモデル/仕組み=システムモデル」化のスピードアップの流れがあると思われる。そして、更に多く分野へと普及してきている。

出典：PoC を解説！言葉の意味や、その効果についてわかりやすく紹介 <https://tinyurl.com/y65w3qpt>

■ CE(Concept Engineering)とは

PoC の目的/目標設定に焦点を当てたエンジニアリング版が CE(Concept Engineering)である。CE とは、「誰にとっても分かり易く、熱く胸をうつ目標(ミッション)とその具体化のための推進・実施法などを定めた組み立てが欲しい」という命題に対して、まずは「夢を描く作業からスタートする」。この夢(今で云うムーンショット)を描く作業が CE である。その実施には、あらゆる条件・制約下での調査研究、技術予測、社会システム、国際環境等の変化見通し等をまず広く浅く行って、誰にでも分かり易くアピールする目標に仕上げる。このコンセプト、目標がコンセンサスを得て、新しい目標 (ミッション) として承認されるまでの作業が CE である。

出典：コンセプトエンジニアリングとプロジェクトマネジメント、有人宇宙システム(株) 社長 久保園 晃、1994. 5. 20

有名なアポロ計画を宣言したケネディ大統領は演説(1961年5月)を行う前に、基礎となる技術トレンドを詳細に調査させ、目標達成の可能性があることを確認している(CEの実施)。

出典：“ムーンショット”は時代遅れ-広範で複雑な課題を解決するための「新たなアプローチ」が必要だ 2019.10.04 WIRED.jp

<https://bit.ly/3sdu79U>

